

1. 「津軽石地区復興まちづくりの会」（9月27日開催）における意見

■皆さんからのご意見・ご提案

検討の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> 各集落で話し合いをしてから意見を検討会に持ち寄りしてはどうか。 津軽石川の右岸と左岸で分かれて検討するなど、柔軟に対応したほうがよい。 各集落での話し合いを進めるため、仮設住宅等へ移転している方の情報を提供してほしい。
復興まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> 避難公園や避難ビルの場所や設備、支所等の公共施設の整備場所、車の避難道路と歩いて逃げる道路についても検討してほしい。

■主な意見交換の概要

検討の進め方について	Q: 若い人や女性の意見を反映する必要がある。	A: 検討結果等については広報誌と併せて「地区復興まちづくり便り」を発行します。皆さんに見ていただき、それに対する意見をファックスや手紙、メールなどでお寄せください。検討会で若い人の意見が必要であると判断されれば、若い人の意見を聞く会合を開催することも可能です。
	Q: 検討会は集落単位で開催するのか。	A: 検討会メンバーを集めて1箇所で開催します。集落単位では開催しません。
	Q: 高台移転等の希望戸数のアンケート調査をいつ行うのか。	A: 検討会でパターンが決まっていなくていいと聞けないと考えると、検討会の中でアンケート調査時期も検討していただきます。
防潮堤や道路等の施設について	Q: 新聞では11.6mの津波であったと記憶しているが、防潮堤が10.4mで大丈夫なのか。	A: 10.4mは過去第2位の明治三陸津波クラスが来た場合を想定した高さです。今回の津波はそれより高いので、その際は避難を考えるなどで対応する必要があります。
	Q: 2線堤兼用道路や地盤の嵩上げ高は、いくらを考えているのか。	A: 津波シミュレーション結果をもとに、今後検討します。
	Q: 避難公園や避難ビルには、トイレや水、食料、暖を取る設備などを設けるのか。	A: 避難ビルの場所や備蓄等についても、今後検討したいと思います。
	Q: 支所や公民館、消防署等はどう考えているのか。	A: 検討会でパターンを検討し、その中で支所等の場所についても検討していきます。
復興まちづくりについて	Q: 津波発生時に防災無線が聞こえにくかった。	A: 現状を調査し、検討していきます。
事業手法について	Q: 高台移転や面的嵩上げは地域でまとまって実施と説明されたが、どのくらいの区域で必要なのか。	A: 事業を行うのは皆さんがまとまってもらうことが前提である。反対者がいればできません。収用法の適用など強制的にできる方法を国でも考えています。
	Q: 工業高校の周辺を嵩上げすることとなっているが、何年かかるのか。	A: 明確に言えませんが、3年+αと考えています。
浸水区域内の土地、建物について	Q: 非可住地内に現在住んでいる人は、強制的に移転することになるのか。	A: 現時点では強制的に移転させることはできません。事業を行うのは皆さんがまとまってもらうことが前提です。反対者がいればできません。
現在の生活について	Q: 事業が長期化した場合、仮設住宅や民間賃貸の入居期間はどのようになるのか。	A: 阪神淡路の際も仮設住宅に2年以上上居住している方がいました。今回も入居期間が延長できるように要望します。民間賃貸も同様に要望します。
	Q: 仮設住宅の空き家があると聞いているが、どうするつもりか。	A: 現在も何軒かは入居が続いている状況です。その他、高齢者のグループホームや従前コミュニティ維持のための住み替えなどを検討しています。

2. 「地区復興まちづくり便り」に関する意見

- (1) 「地区復興まちづくり便り」でお知らせしているように、現在各地区で「地区復興まちづくりの会」が開催され、今後、地区別の具体的な検討に入ってまいります。そのことについて、あなたの考えをお書きください。

地区ごとに会を開催されているが、足が不自由なため行くことができず残念だ。
参加できる方法を教えて欲しい。(70 歳代 女性)

- ・具体的に代替地はどの辺を予定しているのか知りたい。
- ・代替地はどのように割当られるのか？借地、無償で提供、売地など
- ・被災した土地は買上げてもらえるのか。(40 歳代 男性)

- ・検討会の開催数は4回だけで足りるか？
- ・検討会の開催前に町内会単位等の意見交換会の開催は無いのか
- ・検討会の公聴は出来るのか？(50 歳代 男性)

- (2) 地区の復興まちづくりに関連して、あなたのお考えをお書きください。

障害者の痛みのわかるまちづくりをしてほしい。(70 歳代 女性)

- ・国道を嵩上げしてほしい。
- ・駒形橋の幅を広げてほしい。
- ・被災した土地を買上げてほしい。
- ・住宅再建に当たり補助してほしい。土地購入費、新築費用など
- ・住宅再建支援金の申込期限を延長してほしい。現状の期限では短すぎてその間に再建するのは非常に困難と考える。資金面、土地の確保など(40 歳代 男性)

- ・法の脇地区は嵩上げに地区の存続できることを願う。
- ・保育所の新設は清寿荘の隣接地に建設し、世代間交流を図ったらどうか。
- ・防潮堤を嵩上げした場合、今回と同規模の津波の場合、湾奥の地区の被害が甚大になるのではないかと。湾口防波堤、閉伊川、津軽石川堤防の嵩上げ等の整備等を最優先にしてほしい。
- ・津波の湾内の反射波を検証し、公表してほしい。
- ・防災用飲料水槽の建設整備
- ・避難場所（岡田恵比須堂、館山公園南側通路）検証・整備

(50 歳代 男性)

津軽石地区の被害の範囲も広く、現在松川に仮設住宅の方やすでに建替え中の方もいるので、人は増えてくることが予想される。松川・大松川付近にスーパーなど店や、子供たちが遊べる公園を造って欲しい。JR線は安全な場所に作って欲しい。今回の震災により物流面からも縦貫道の早期完成を確実にし、また106号線も真直ぐに治して欲しい。

(40 歳代 男性)

防潮堤は高く、家は高台の方をお願い出来れば良い。これから先どんな災害が起きるのか分からないが避難所の事を良く考えてほしい。

(70 歳代 男性)

3. 「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査（7月実施）」の自由記入より抜粋

大分類	中分類	意見
防潮堤等の施設について	防潮堤	今まで住んでいた場所で生活したいので、堤防の強化、土地を嵩上げしてほしい。
		防波堤の再建にはどれくらいの期間を有するのか？
		さらに対岸の堤防も同じ高さにかさ上げもしてほしい。津波による水量をにがすため、閉伊川、津軽石川沿いの堤防のかさ上げする
		防潮堤や防波堤を高く、ハード整備を希望。
		山を整地した残土を堤防に使用する。堤防を高くしてその上を道路にする。
		平地が少ないことと、もとの場所に住みたい住民がいることから、浸水地域にも住宅建築できるように堤防などを整備する
	水門	海側と陸地側に通路用の水門は無くする（インターチェンジ風）の道路にする。
	河川	河口より1km位は低水位工事を実施。大雨・津波等に対処。
		津軽石川が浅くなってきたので、深い川に整備してほしい。
	国道等	金浜から津軽石の国道45号線嵩揚げ整備)
		高速道路整備、1車線片側とところどころに追い越し車線の高速道は非常に危険であると思う。
	県道、市道	道路、公共交通など、災害に強い交通網を。
		三陸道の早期完成及び防災道路としての活用を構築する。
		復興にあたり宮古の道路は昔から幅が狭い。始めから広くする。
		都市計画を立て、道路の拡張等を考える。新築すれば建築法で土地を削られるが、古い地主は門扉をかまえて土地を削られないので、平等に市道を拡張する。
	避難路	高台に避難場所を作り、そこへの避難道路を複数本通す必要があると思います。
		3/11夜道を歩くと真黒で道路の横の白線だけが頼り避難道は白く塗りつぶした方が見えやすかった。
		花輪に通じる津軽石、根井沢道路の整備。
		避難道路の確保を早急に進めてほしい。
	公共交通	JRや南リアス線は、地域の老人などの買い物をする上で大切なので復旧を。
公共施設	シーアリーナのような市民の方が安く、気軽に借りられるような施設がほしい。	
	運動公園、野球場、市民会館など市民が集まれて楽しめる場所の整備をお願いします。	
	津軽石公民館の建て替え計画があると聞いています。いざという時の避難建物としての性格を持たせ、今の場所に建て替えたらと思います。	
	市役所などの移転、西側へ開発すること。地質調査、地盤調査を含めて、今後を考えてほしい。	
公営住宅	公営住宅に住みたい。公共住宅にもペットの同居を希望したい。	
	一級身障者の夫がいるので、公営住宅の一階に入居出来ればと思っている。	
復興まちづくりについて	将来像	魅力のある都市づくり、県内の陸、海、空の自衛隊の基地、防災都市づくり、土地を国に買い上げでなく、寄付して開発する。防災指定都市にする。
		漁業、観光など、海なしでは宮古は成り立たないと思うので、万が一の時に逃げられる強固な建物などを造り、海と共存できる方向で復興を望みます。
		宮古市で自家発電や太陽光発電など、電力会社以外の緊急用の設備を考えてみてはいかがでしょうか。
		自然エネルギー活用に向けた取り組み。
		希望の持てる土地利用や各産業、医療、交通、福祉等、総合的な計画策定をお願いしたい。
		宮古市は新里川井地区など内陸部の土地が多いのでその土地の活用を考えるのも良いと思う。
	漁港について	漁業者の倉庫及び作業場の水門の閉鎖はソーラー発電でできないか？

大分類	中分類	意見
復興まちづくりについて	復興パターンについて	三陸縦貫道、106号道路を中心に鉄道を作り沿岸から離れた津波の心配のない場所に市の機能や公共建物を移動し住宅を集められるようにしたい。
		市街地・中心地にはマンション建設（下階は店舗、上階は居住型）により新たな構想が必要と思います。現在の宮古駅中心に集約、再生を図る形が良いと思う。
		赤前と藤畑の間に台地をつくる。もしくは法の脇と八木沢の間に台地をつくる。
		市として栄通りの復旧はどう考えているのか？
事業手法について	防災対策	津波被害を受けない所に避難場所を指定してほしい。
		聞き取り易い防災広報無線を整備してほしい。
		災害など避難する時、寝たきりや車椅子等を使用している老人がいる時、一人では避難が難しく、人の手を借りたい時があるので、どうしたらいいのか。
		街灯が無くなり暗く、安心して歩けない。避難時も困る。
		避難場所が高台にあったのは良いのですが、避難をする建物がない。
		宮古に住んで日が浅い人には、避難ルートや非常時の迂回路など冊子にして配布をすれば良いと思います。
		重茂・姉吉地区の「これより下に家を建てるべからず」の通り今回は難を逃れた地区もあり、ここら辺が基本的な復興策の土台になるとおもいます。
		身障者専用避難所の確保による早期避難の促進。寝たきり障害者のプライバシー確保
	高台移転	宮古では西が丘、中里、佐原、山口どれも立派な団地があります。高台の山をくずして津軽石団地を作るように提案します。
		宮古市で、今回被害にあった世帯を対象に高台の場所を提供していただければ有難い事だと思っております
		市役所、警察署はその街の司令塔だから市役所を震災に強い高台に移転する
		高台に高齢者が徒歩で生活できる団地がほしい。
		高台に住宅地を形成するのは早期に可能なのか？
		高台に分譲マンションとか建ったりとかしてくれれば、少ない土地で多くの方が持ち家を持つ事が出来ると考えたりもします。
浸水区域内の土地・建物について	個別再建について	今までの家のローンも残っているし、せめて土地だけでも安全な場所を取得できるよう、市のほうでなんとかしてもらいたい。
		家が残され、今補修している。毎日生活する為にお金が支援されると有難い。
		時間が経つと家の修理をしなくてはならない場所が出てくるので、住宅修理の補助金は今後もあった方が良いでしょう。
	利用	空地となる土地は農業の再生をはかるべき。
		津波で廃墟となった土地を有効に活用してほしい。
		津波で流失した地域には、どのようにして有効利用していくつもりなのか？
		ヒマワリやアイスプラントや菜の花を植える（被災農地へ）
	既存不適格	現在住んでいる津軽石地区は危険地域に指定されるのか知りたい。
	売却	住宅は解体をお願いしています。解体後の土地等がどうなるのか心配です。出来る事なら土地を売って新築代の助けにしたいのですが？
		津波の被害を受けた土地の買い上げを積極的に検討してもらおう。
権利	震災前の宅地に住居の建築許可等々、市の方針を明確にしてほしい。	
	震災前に住んでいた土地が、これからどうなるか分かりませんが、その結果が出てから、これからの住まいの場所を考えます。	
	人は高台へ、低地の土地は高台の土地と交換（もちろん道路の分や公園の分もあるのが小さくなるが）	